地理歴史科（世界史Ｂ）学習指導案（例）

|  |  |
| --- | --- |
| 日時 | 令和○○年○月○日（○）第○時限 |
| 学年・組 | ○○科　○年○組　世界史Ｂ選択（○○名） |
| 教材 | 教科書名（出版社名）資料名（出版社名） |
| 指導者 | 教諭　○○　○○ |

１　単元名　　第○章　諸地域世界の結合と変容　　第○節「ヨーロッパの拡大と大西洋世界」

２　単元の目標

ア 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究できる。

イ　16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。

ウ　16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史に関して、その時代に作成された資料から、有用な情報を読み取ったり、図表などにまとめたりすることができる。

エ　16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史の特色などを理解し、その知識を身に付けることができる。

３　単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 資料活用の技能 | 知識・理解 |
| 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 | 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 | 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史に関して、その時代に作成された資料から、有用な情報を読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 | 16世紀から18世紀までの大西洋世界の歴史の特色などを理解し、その知識を身に付けている。 |

４　指導と評価の計画（８時間）　　●…記録に残す評価　　○…指導に生かす評価

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 学習内容 | 関 | 思 | 技 | 知 | 評価規準等（評価方法） |
| １ | １ | ○大航海時代・「南蛮屏風」には何が描かれているかを読み取る。・南蛮船のアジアへの来航を促したヨーロッパ世界の背景をまとめる。 |  |  | ヨーロッパは、どのようにして世界各地に進出したのだろう。● | ○ | ・「南蛮屏風」をよく観察して、読み取っている。（ノート）・既習事項を活用し、ヨーロッパ世界の背景をまとめている。（ワークシート） |
| ２ | ２３ | ○ルネサンスと宗教改革・当時の絵画を活用して、中世とルネサンス期の特徴についてまとめる。・ルネサンス期の芸術活動について理解する。・ルネサンスと宗教改革の関わりについて、共通点と相違点に着目してまとめる。・「時代の転換点」という言葉が当てはまる歴史的事象について考える。 | ● | ルネサンスと宗教改革は、どのような関係にあったのだろう。● |  | ○○ | ・古代ギリシア、ローマの生き方に立ち戻り、人間性豊かな生き方を求めたことを読み取っている。（話し合いの様子）・ルネサンス期に、人間や自然に対する合理的な探究活動が始まったことを理解している。（ワークシート）・ルネサンスが、信仰の原点を聖書に求める宗教改革につながったことをまとめている。（ワークシート）・既習事項や現代の歴史から、従来の社会のしくみを大きく変えた歴史の転換点について、自分で考えている。（レポート） |
| ３ | ４ | ○ヨーロッパ主権国家の形成・16世紀以降のヨーロッパの国際関係について外交や国際法に着目してまとめる。 | 16～17世紀のヨーロッパ諸国は、どのような関係にあったのだろう。 | ○ |  |  | ・国際関係を調整するため、外交や国際法に着目して、課題等を適切にまとめている。（ワークシート） |
| ４ | ５６ | ○重商主義と啓蒙専制主義・ヨーロッパ諸国の覇権の推移や東ヨーロッパ諸国の動きを理解する。・資料を用いて、宮廷文化と市民文化の特色を読み取る。・ヨーロッパの主権国家体制と中国の冊封体制の違いを説明する。 | 17～18世紀のヨーロッパ諸国は、どのような情勢にあったのだろう。 | ● | ○ | ● | ・ヨーロッパ諸国の覇権の推移や東ヨーロッパ諸国の動き、植民地争奪戦争の経過と結果などを理解している。（小テスト）・主権国家体制と商業活動の活性化が、特色ある文化を生み出したことを読み取っている。（ワークシート）・ヨーロッパの主権国家体制の特色を、中国の冊封体制と比較し、適切に表現している。（レポート） |
| ５ | ７本時 | ○アメリカ大陸の変容ヨーロッパ諸国の進出がアメリカ大陸にどのような変化をもたらしたのだろう。・身近な料理を基に、原産地や日本に広がった経緯を調べながら、深め合う。・植民地活動の展開やその影響をまとめる。 | ● |  | ○○ |  | ・主体的に調べ、アメリカ原産の食材が、私たちの食生活を支えていることに気付き、意欲的に追究しようとしている。（発表内容）・資料から植民地活動の影響に気付き、問いとしてまとめている。（ワークシート） |
| － | ８ | ○定期テスト |  | ● | ● | ● | ・単元の目標に到達している。 |

５　本時の指導（第７時）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
| 導入５分 | ○アメリカ大陸の古代の歴史 | ・アメリカ大陸の古代の歴史を理解する。 | ・写真資料を効果的に使用する。・なぜ、先住民は、アジアに多く暮らす人種と同じ人種であるのか確認する。 |
| 展開40分 | ○身近な食材の原産地と広まった過程○スペイン人による征服○植民地活動の展開 | ・料理を一つ選び、その食材の原産地や日本にもたらされた過程を調べる。・スペイン人がたやすく征服できたのはなぜか考える。・現在の南アメリカ大陸の国々が、多様なルーツをもった人々により構成されていることを理解する。 | ・タブレットで調べながら、その内容を自由にグループで会話させる。・普段食べている多くの食材がアメリカ大陸原産であり、それらが日本にも、江戸期以降に伝来したことに気付かせる。評価規準…主体的に調べ、アメリカ原産の食材が、私たちの食生活を支えていることに気付き、意欲的に追究しようとしている。（発表内容）・スペイン人が中南米に進出する流れを説明する。・項目を示すなどして、効率的に考えられるよう、方向性を示す。・「コロンブスの交換」にふれ、前の学習活動を補足する。・タブレットにサッカー代表チームの写真を送信し、導入の質問も踏まえ、問いを立てさせる。・アフリカ系奴隷導入について説明する。評価規準…資料から植民地活動の影響に気付き、問いとしてまとめている。（ワークシート） |
| まとめ５分 | ○本時の振り返り | ・アメリカ大陸とヨーロッパの出会いは、互いに何をもたらしたかまとめる。 | ・「○○が歴史を変えた」というテーマで、各自、80字程度の文章にまとめる。 |